

# 学びと育ちをつなぐシート（記入例）

○就学前施設で、5歳児の1年間のうち、幼児がどのようなことを経験してきたか。  
●保育者の援助や環境の工夫を記載する。  
青字文章は記入例

○年○月作成】

具体的な遊びや活動を端的に記載する  
青字文章は記入例

保育者と小学校教師との引継ぎ会議での協議内容や、スタートカリキュラムに反映させたい内容のメモを、小学校教師が取る  
青字文章は記入例

## 5歳児 友達と力を合わせて生活を進めているように

| 生きる力の基礎と子供の発達に応じて確実に経験させたい内容の視点 |  | ○幼児が経験してきたこと ●援助、環境の工夫   | 遊びや活動   | 協議メモ  |
|---------------------------------|--|--|---|---|
| 学びの芽生え                          | <b>思考</b><br>興味・関心<br>好奇心<br>探究心 など        | ○好きな遊び（自由遊び）で自分なりに試して作ることや、保育者や友達の作ったものに刺激を受けて作ることを楽しんできた。繰り返し遊ぶ中で、作り方や素材を自ら選んで考えたり、物の性質や法則性に気付いたりしながら遊びを深めていった。<br>●一人一人が自分なりの作り方（方法、素材、場所等）で作る姿を認め援助した。イメージが実現できるように一緒に考えたり、新たな素材を提示したりした。   | ・ゴム動力を使って舟作り、傾斜を使ってビーズコース作り等                    | ・好きな遊びでどのような遊びを楽しんでいたか。   |
|                                 | <b>言葉</b><br>話す・聞く<br>伝え合う<br>言葉に対する感覚 など  | ○楽しかったこと、困ったことをなど自分のなりの言葉で話したり、友達の話を聞いて思いや考えを伝え合ったりしてきた。その中で相手に伝わるような言葉で伝えること、相手の思いに気づき、受け止める経験をしてきた。<br>●降園前に学級で20分集まる時間を設定した。一日を振り返る時間では、自分なりに話そうとする姿や友達の話を聞いて、思いを伝えようとする姿を見守り、必要に応じて言葉を補ったりして友達に伝わるように援助していた。   | ・一日の振り返り（帰りの会）の中で、みんなの前で自分が経験したこと等話す            | お店屋さんごっこの看板、料理メニュー（画用紙、鉛筆、クレヨン、マジック）<br>・司会原稿は絵とひらがな表記。<br>・（絵本の種類）<br>・（曲名）<br>・（絵の種類と具体的な指導法） |
|                                 | <b>創造</b><br>感性<br>イメージ<br>素材や表現方法との出会い など | ○ごっこ遊びに必要な物や場を空き箱や製作用具、大型積木等を使って自分たちで作ることを楽しんできた。<br>●必要に応じて様々な素材や用具を幼児が選んで使えるような環境を整えた。<br>●新しい素材や技法が経験できるように、年間を通して課題活動を計画した。  | よく使用していた用具<br>・画用紙、折り紙、ハサミ、糊、ボンド、目打ち、クレヨン、マジック等 |   |
| 人との関わり                          | <b>協同</b><br>共感<br>調整<br>自己理解<br>他者理解 など   | ○11月の生活発表会では、5～6人のグループで劇を考え、なりきって表現することを楽しんだ。劇遊びの必要なもの（衣装、小道具、大道具）を自分たちで考え、イメージやアイデアを出し、伝え合いながら協力して作り上げる経験をした。<br>●グループで集まって、保育者が側にいなくても自分たちで進められるように「話し合いシート」に、集まる時間ややることを絵や文字で書いて共有した。<br>●一人一人の思いが表せているかを見取り、必要に応じて、「○○君は、思う？」「みんなに話してみたら？」と伝え合えるように援助し友達と一緒に作り上げる経験を大切にしてきた。 | ・劇遊び、音楽会<br>・運動会や発表会等に向けての活動 等                  | ・（劇遊びや音楽会で話し合いの具体的な様子）<br>・（運動会や発表会の競技内容や演目）<br>・（ルールや役割の具体例。どのような時にどのようなルールを作ったか）              |
|                                 | <b>信頼</b><br>自己表出<br>受容 自信<br>思いやり など      | ○好きな遊びや課題活動で、自分の力を発揮する機会を大切にしてきた。友達によさ気づき、認め合う経験を積み重ねてきた。<br>●保育者も幼児のよさや頑張っている姿を捉え、遊びの中や学級全体の場でも認められるようにしてきた。  | ・運動会、生活発表会での係の仕事。<br>・一人一人が力を発揮できるように。          |   |
|                                 | <b>規範</b><br>善悪に気付く<br>きまり<br>ルール など       | ○遊びや生活の中で、自分たちに必要なルールや役割などを考え生活を作っていた。<br>●保育室や遊具など遊びや生活の中で、ルールや決まりを学級で考えたり、確認したりする機会を大切にしてきた。当番活動などでは、友達と協力しながら自分達で進める幼児の姿を認めた。   | ・遊具の使い方や物の置き場を考える<br>・昼食時の当番、欠席調べ、飼育物の世話等       |   |
| 生活習慣・運動                         | <b>基本的な生活習慣</b><br>生活リズム 安全 健康 自立 など       | ○登園時や降園時の集まりの中で、一日の流れや予定を決めていった。絵表示を見ながら片付けの時間や集まりの時間に気づき行動した。<br>●週の予定や一日の予定、時計の表示などを掲示し、幼児は一日の予定を理解し、自ら動くことができるように環境を整えた。  | ・一日の予定やカレンダーの表示、時計の表示を見る。                       | ・（一日の時間の流れ）<br>・（食育指導について。偏食への対応方法）   |
|                                 | <b>運動</b><br>体を動かす楽しさ<br>体力 など             | ○ルールのある運動遊びや、ボールや縄跳びなど、様々な遊具を使って伸び伸びと身体を動かし、友達と共に遊ぶ楽しさを味わった。<br>○様々な動きを楽しんだり繰り返し挑戦したりした。<br>●巧技台やビーム（一本橋）運動遊具をいつでも使えるようにし、アスレチックコースを作り、体を動かして遊べるように場や環境を設定した。<br>●頑張る姿を認めたり励ましたりした。  | ・ドッジボール、リレー、三すくみ鬼、フープ、ボール、縄跳び、雲梯、鉄棒、上り棒、巧技台等    | ・（遊びや生活に即して考えるとは）   |

